

## 年頭にあたって

東部農林振興センター松江家畜衛生部 部長 矢田恭一

あけましておめでとうございます。

令和最初の年明けとなりました。皆様方には健やかな新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。また、日頃より家畜衛生の推進にご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、一昨年9月以降、令和2年1月10日までに岐阜県、愛知県の養豚農場を中心に1府9県でCSF<sup>\*1</sup>の発生が、12県の野生イノシシでCSFの抗体陽性事例が確認されています。CSF対策として、①野生イノシシの捕獲、検査の強化や経口ワクチンベルトの構築②感染経路の遮断対策として養豚農場における飼養衛生管理基準遵守の徹底などバイオセキュリティの向上や人、モノを介したウイルス拡散防止③飼育豚対策として地域を限定した予防的ワクチン接種が行われているところです。

また、アジア地域に目を向けますと、ASF<sup>\*2</sup>の発生が中国、韓国、北朝鮮、カンボジア、香港などで続いており、世界最大の豚肉消費国である中国では豚肉価格が高騰するだけでなく、必要量を確保できるかどうか分かっていない状況です。ASFウイルスは、海外から日本に渡航された方のお土産や個人消費のための携行品からウイルス遺伝子が検出されており、水際でなんとか防いでいる状況にあります。

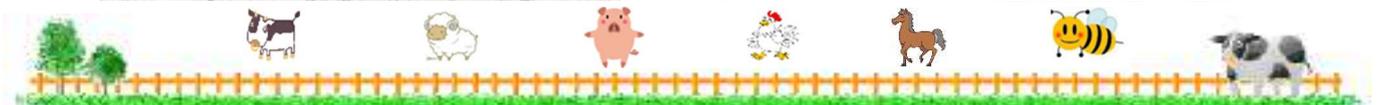
家畜を飼養されている皆様にあつては、日頃から「飼養衛生管理基準」に基づき家畜伝染病の侵入防止に努めて頂いているところですが、特に関係者以外の農場への立入禁止、農場（畜舎）に出入りする際の消毒の徹底、養豚農家の方には前記に併せ、飼料に生肉を含む可能性がある場合に十分な加熱処理をしていただくなど衛生管理の徹底をお願いします。

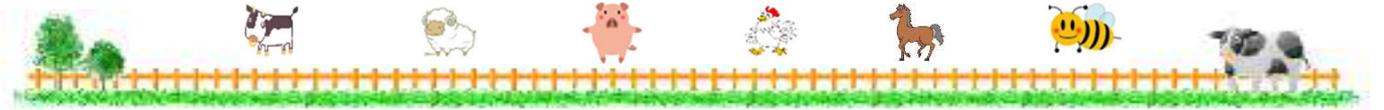
※1 CSF：豚コレラ ※2 ASF：アフリカ豚コレラ

## 隠岐支所だより

令和元年10月19日に開催された島根県種畜共進会において、隠岐郡代表で第1部肉用種牛第4区に出品された海士町の戸鳴豊氏所有の「ふく」号がグランドチャンピオンを受賞されました。昨年の本共進会における隠岐郡からのグランドチャンピオン選出に続いて、隠岐地区からの2年連続の栄誉に生産者・関係者一同に大変喜びました。

戸鳴畜産は牛舎に隣接した広大な放牧地を有しており、豊富な運動量により強靱な体躯を形成したものと思われます。



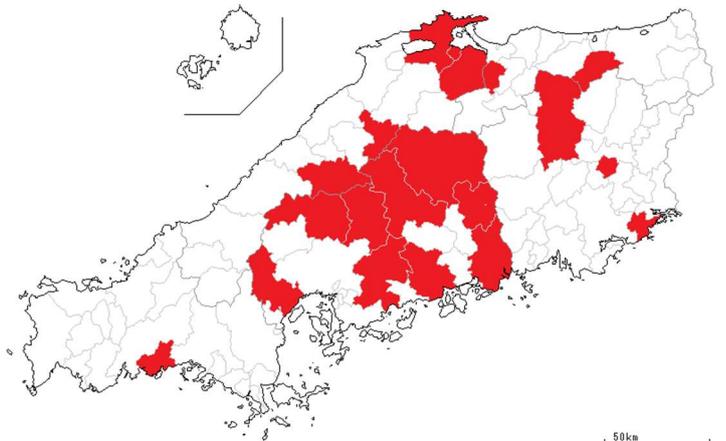


## 異常産発生に注意が必要です!

牛の異常産（流産、早産、死産）を引き起こす原因の一つとしてウイルスがありますが、当所では農家さんのご協力のもと流行予察を実施しています。今年度の調査結果から島根県内のみならず、中国地方各県で「アカバネウイルス」の流行の可能性がありました（右地図参照）。

免疫力のない母牛が感染した場合、体形異常等の異常産が発生する可能性がありますので、今後の分娩に注意が必要です。

春先（3月下旬）から異常産ワクチンの接種が始まりますので、積極的に接種を受けて生まれてくる子牛を守りましょう！



中国5県における異常産サーベイランス結果  
（アカバネウイルス抜粋）

赤色：流行の可能性があった地域（抗体陽転）

## 伝染病発生状況について

平成30年9月9日、岐阜県の養豚農場においてCSFの発生が確認されて以降、直近の沖縄県での発生を含め1府9県において発生が確認されました。発生農場における防疫措置の他、まん延防止対策が講じられていますが収束の目途が立たない状況です。

また、近隣諸国ではASF（中国・韓国）、口蹄疫（中国）、高病原性鳥インフルエンザ（台湾）が継続して発生しており、依然として国内への侵入リスクが高い状況が続いています。また、低病原性鳥インフルエンザウイルスが国内の野鳥から検出されるなど予断を許さない状況が続いています。

家畜飼養者の皆様、関係機関の皆様におかれましては、農場へ病原体を持ちこまない、運ばないよう、飼養衛生管理基準の遵守徹底をお願いします。

（編集後記）

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。本年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。選手の活躍にあやかって、皆様にとっても飛躍の年となりますようお願いしております。

matsuekaho matsuekaho

### 島根県松江家畜保健衛生所

○本所（島根県東部農林振興センター松江家畜衛生部）

〒699-0109 松江市東出雲町錦浜474-2

TEL：(0852)52-5230 公用携帯：080-1935-0883 FAX：(0852)52-3377

○隠岐支所（島根県隠岐支庁農林局家畜衛生部）

〒685-0015 隠岐郡隠岐の島町港町塩口24

TEL：(08512)2-9690 公用携帯：080-1935-0886 FAX：(08512)2-9657



衛生管理を徹底しましょう！

関係者以外  
**立入禁止**

DO NOT ENTER

関係者以外の農場  
への立入を禁止

水で汚れを落とす  
てから消毒

農場(畜舎)に出入りする  
際には、消毒を実施